

大学生が「若者の地元定着促進」のための案を発表 — 経済学科・山口ゼミでPBL(課題解決型学習) —

熊本学園大学経済学部経済学科・山口泰史准教授(専門:人口地理学)のゼミの学生が、授業に協力いただいた団体の担当者に向け「若者の地元(県内)定着促進に対する課題解決策」に関する案を発表します。

「地方創生」が国や地方の施策の柱となっている今、人口減少や少子高齢化が進む地域で継続的な活性化を図っていくためには、地域を支える若年層は欠かせない存在です。とりわけ、地方圏出身者が、Uターンも含め就職等でどれだけ地元に残留・定着するかは、地域の将来を左右するひとつの指標と考えられています。

同課題について研究している山口ゼミでは、これまで、戦後の日本の人口移動の実態や、若者の地元定着のための施策を進める自治体や企業の取り組みについて学んできました。2020年10月から11月にかけては、熊本県が推進する『くまもとではたらく』若者の県内定着促進プロジェクト、Uターン者への奨学金助成プログラムを開発した鹿児島相互信用金庫(同金庫設立の「そうしん地域おこし研究所」)の担当者を迎えたゲスト講義や、菊池市「域学連携」地域づくり実行委員会に話を聞くフィールドワークも実施。実務者から生の声を聞き考察を深め、その後は「若者の地元定着」に関する高校生向けアンケート調査の設計、実施、集計を経て、仮説をもとに、同年代の若者が地元に住みたい、残りたいと思える地域づくりについて積極的に議論を重ねてきました。

このたび、成果の場として、18人の履修学生が5グループに分かれて独自の案をプレゼンテーションします。また、プレゼンを聞いた担当者が「審査員」となって採点し、優勝・準優勝グループを決定します。

よろしければ取材いただきますよう、ご案内申し上げます。

<経済学科・山口ゼミ 「若者の県内定着促進に対する課題解決」成果報告会>

- 日時 2021年6月1日(火) 13時00分~14時30分
- 場所 本学14号館1階1411教室(熊本市中央区大江2丁目5-1)
- 発表者 3年生18名
- 審査員 菊池市地域おこし協力隊、菊池高等学校教員、菊池農業高等学校教員、昨年発表を行った同ゼミの4年生(10名程度)

本リリースについてのお問合せ

熊本学園大学 広報室 TEL:096-364-8722(直通) Mail:koho-kgu@kumagaku.ac.jp

熊本学園大学 プレスリリース等メディア情報一覧

<https://www.kumagaku.ac.jp/news/archives/category/media>

